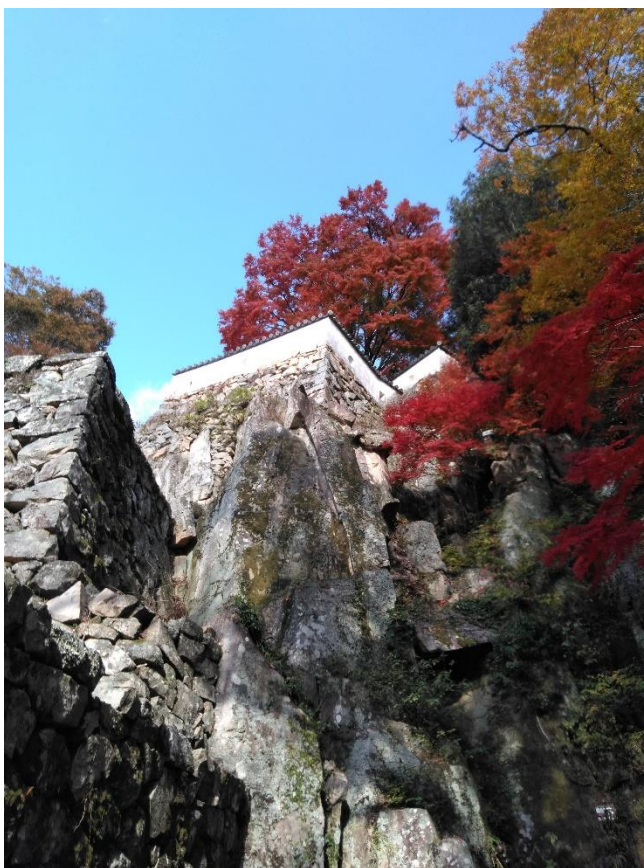


ぶな

2020年12月号

NO. 501



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻頭言

S 水 M 子

もう師走。一年があっという間に過ぎ去っていくように感じるのは年齢のせい？

今年は東京オリンピックが華々しく開催されるはずだったのに……。コロナ禍で閉じこもりの生活を余儀なくされ、その後も不安を抱えながら三密を守って、距離を取りながらの生活となりましたね。

楽しみにしていた山行も山小屋が閉まっていたり、密になりそうで不安だったり、と思うように計画できませんでした。「こうなったらソロテントしかないな」ということで思い切ってテントを購入。早速、家で組み立ててみました。なんだかワクワク、小さいながら一軒家をゲット。「寝心地はどうか？」とシュラフ等を持ち込んで、思わずおうちテントを2泊も楽しんでしまいました（笑）

いつもの同級生チームでいざ歩荷トレーニング。金勝アルプスを歩き、桐生のテント場でテント泊の練習。でもザックの重いこと。テント自体は軽いけど、衣食住をすべて持つとなると、すごい重さになるのですね。「ヨイショ！」と担ぎ出すのに勇気というか、覚悟がいります。でもこの夏はテントのおかげで練習も含め4回、テント泊を経験することができました。

八が岳の1回目は残念ながら雨の山行。行者小屋のテント場に着いたものの雨の中、設営するといういきなりの試練。ここでは大津市のごみ袋が大活躍しました。でも何とか設営して中に入ると雨も全然気にならず、自分だけの空間が確保されていて、それはそれは快適！なんか“ひとりの空間っていいなあ”って、すっかりテントの魅力にはまってしまいました。次の日も天候悪く撤退したものの、二週間後にリベンジして、無事に赤岳、横岳、硫黄岳を縦走することができました。

最後の1回は涸沢を拠点に奥穂高、北穂高に挑戦。憧れの涸沢でしたが、荷物の重さに負けてバテてしまい道のりが遠かったです。宿泊が長くなると食料も増え、荷物もより重くなってくるのを実感。もっと荷物の重さに負けない体力をつけないとダメですね。まだまだ課題が多いです。がんばらなくっちゃ！！

冬に向かい、コロナ感染の増加も心配なところですが、来年はもっと山を楽しめるようにと心から願います。少し早いですが、来年こそ良い年となりますように。そしてどうぞよろしく願います。



<例会山行案内>

金勝アルプス 鶏冠山～竜王山

湖南アルプスの一部とされることもある金勝（こんぜ）アルプスは、変化に富んだ稜線歩きを楽しむルートで滝や奇岩や石仏などの見どころの多い山です。5年前の私が雪稜会に入会する前に例会として行われたコースです。前回行かれた方も、またそれから新しく入会された方も晩秋の紅葉を見ながら岩登りもある少しハイクラスのハイキングを楽しんでみませんか。

日程 12月6日（日）

集合 和邇川河川敷駐車場 7:30 集合

コース 和邇川河川敷駐車場 7:30＝上桐生バス停駐車場 9:00～落ヶ滝 10:00～北峰縦走路分岐 10:20～鶏冠山(491m) 11:00～12:30 天狗岩 13:00～白石峠 13:30～竜王山(605m) 14:00～林道狛坂線分岐 14:20～狛坂摩崖仏 14:50～さかさ観音三尊石仏 15:50～上桐生バス停駐車場 16:00（現地解散）

レベル 初級 体力 ★★☆☆☆ 技術 ★★☆☆☆

持ち物 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、その他日帰り装備

申込み先 N野

締め切り 11月30日（月）

雨天中止 中止の場合は、前日に連絡します。

注意： 新型コロナウイルス感染予防としてマスクの着用をお願い致します。 但し、山行中はマスクを外して貰って結構です。

車は3～4名/台とし、現地に直行される方はCLまで連絡して下さい。

駐車場は有料で700円/台です。

忘年山行 武奈ヶ岳

2020 年の忘年山行、金糞峠からコヤマノ岳経由で武奈ヶ岳へ登ります。比良山系の最高峰武奈ヶ岳で 2020 年を締めくくりましょう。

今年は山行後の忘年会予定がありませんので、ゆっくりペースで登下山します。

(コース)

和邇川河川敷駐車場 7:00＝和邇駅 7:05＝正面谷駐車場 7:30～大山口 8:00～金糞峠 10:00
～コヤマノ岳 11:00～武奈ヶ岳 12:00(昼食)～八雲が原 13:45～北比良峠 14:30～大山口
15:45～正面谷駐車場 16:00 (解散)

体力★★★★☆☆ 技術★★☆☆☆

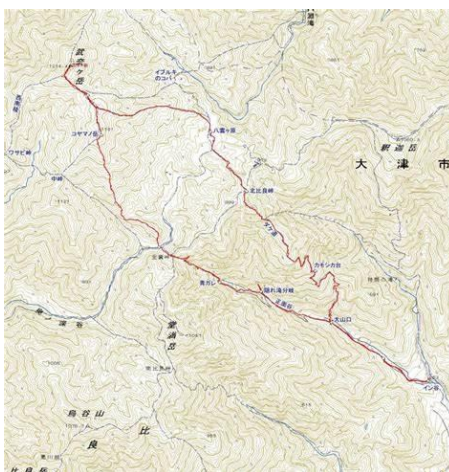
(集合) 12 月 20 日 (日) 7:00 和邇川河川敷駐車場

7:05 和邇駅でピックアップします。

直行の人は正面谷駐車場 (トイレ前) へ
雨天中止 (中止の場合、前日に連絡します)

(申込先) H 島

(申込期日) 12 月 14 日 (月)



<例会山行案内>

初 日 の 出 ／ 権 現 山

2021 年も新年恒例初日の出山行で、登り初めをしましょう。

日 程：2021 年 1 月 1 日（金）

コース：和邇＝栗原⇒権現山⇒栗原＝和邇

体力★★☆☆☆ 技術★★☆☆☆

集 合：和邇川河川敷 午前 4 時

装 備：ヘッドランプ、アイゼン、ストック、防寒着等

担 当：H野

申込み先：H野

締め切り：12 月 26 日（土）

※今回は、新年会は行いません。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により中止とする場合があります。



2020 年初日の出

《登山祭典報告》

-2020 登山祭典-

マキノ 寒風・大谷山

日時：10月25日（日） 晴れ時々くもり

参加者：1班 CL N村高 SL N野 K原 K井 T中啓 S藤 S井 O村智

一般4名 12名

2班 CL H野 SL K嶋 F川 S内 K林 H浦 I井

一般4名 11名

3班 CL N尾 SL H部 N田 G阿弥 H池 K保田 N井

一般3名 10名

会員22名 一般11名 計33名

行程：近江今津駅出発（8：15）＝（貸し切りバス）＝マキノ高原駐車場着（8：40）・
受付・準備体操後出発（8：50）～西山林道分岐（10：00）～展望台（10：15）
～寒風（11：20）～大谷山着（12：00）～昼食後写真撮影（12：45）
～石庭へ下山（15：00）～マキノピッグランド（15：30）＝（貸し切りバス）
＝近江今津駅で解散（16：00）＝堅田駅前（17：30）

秋晴れの爽やかな気候でした。バスの車窓からでしたがメタセコイヤ並木はとても美しかったです。バス到着後、マキノ高原の駐車場からキャンプ場の横を通りゲレンデを登って行きます。7月末の色々自粛ムード満載の時に訪れた時には一組もいなかったキャンパー。秋の行楽シーズンになったこともあり満員でした。眩しい日差しの中ゲレンデを登って行くのが個人的にはこの日一番しんどい所でした。

西山林道出合から木陰道を上がり、展望ベンチで写真撮影休憩。山の上からメタセコイヤ並木を見下ろすというのはとても新鮮でした。



ブナ林、イワカガミ（仮）が多く茂る中をやわらかな秋風とともに歩くのはとても心地よかったです。



ところで葉っぱだけではよく見分けがつかないと皆様おっしゃっていたイワカガミ（岩鏡）とイワウチワ（岩団扇）。ネットで調べたところ、下記のような違いがあるそうです。

- ・イワカガミ の葉はイワウチワに比べてよりハート型に近い葉をしており凹みの部分に枝がついている。
- ・イワウチワは丸い葉にそのまま枝がついていることが多いようです。
- ・イワカガミの花の穂先は花が散っても残っていることが多い。

以上のことからおそらくイワカガミなのではないかと推測されます。葉は似ているのに、花の形が全く異なるというのは面白いですね。春にまた訪れて正解を確認したいです。



寒風で10分ほどの休憩をはさみました。見下ろすとだいぶ上ってきたことがわかります。ススキと琵琶湖のロケーションは素敵でした。

寒風から大谷山への一面のススキ。風に揺られてキラキラしてとても綺麗でした。
また少しずつ紅葉がはじまりいろいろな木々の色が混ざり合って可愛い模様でした。
写真ではうまく伝わらないのが残念です。



大谷山でゆっくりと昼食とおやつタイム、そして班毎と全体の写真撮影。
あとは 風がきつい場所であるため形が面白く変形した木々、そしてひきつづき綺麗な
ブナとたぶんイワカガミのキラキラした葉を眺めながら緩やかな道を下山しました。

コロナ対策、野点無しと異例ではありましたが、はじめから終わりまで丁度良い気候
で、怪我人も無く良い山行となりました。皆様に感謝です。有難うございました。

記録 S井S代

<例会山行報告>

南鈴鹿／鬼ヶ牙～臼杵岳～臼杵山

日時天候 2020 年 11 月 1 日 (日) 晴

参加者 CL N尾 K林 H浦 K藤 S藤 I井 SL H島 N田
K原 SL N野 F野 S井 Y本

行程 駐車地点(8:50)～ 鬼ヶ牙登山口～ 鬼ヶ牙～ 長坂の頭～ 大岩 (小太郎峠)
～ 舟石 (昼食) ～ 臼杵岳～ 臼杵山～ 駐車地点 (臼杵山登山口) (15:30)

道の駅あいの土山で集合し (8:00)、登山口に向かう。30 分ほどで駐車地点へ着く。駐車したところは臼杵山の登山口。我々は鬼ヶ牙の登山口へ (8:50)。舗装路を 5 分ほど歩いて登山口に着く。登山口出発 9:00。いきなりの急登。そのうえ崖際の細いところや、折れそうな細い木の板の上を崖にしがみつきながら渡る等ありで、ようやく鬼ヶ牙到着 (9:45)。これより一旦下り又登って P488m (10:10) を経て長坂の頭に着く (10:55)。瘠せ尾根やザレ場を歩き大岩へ (12:20)。ヤマツプの地図では、大岩と小太郎峠は離れているが、大岩のすぐ横が小太郎峠との標識があった。ここから 10 分ほどで舟石。本日の最高地点 760m である。ここで昼食 (1230-1305)。展望はよいのだが風があつて寒く、木陰に入って昼食を摂る。昼食後、木立の中を抜けて登って行くと安楽峠分岐へ。ここから安楽峠方向に少し登って行と臼杵岳 (13:50)。写真を撮って出発。安楽峠分岐まで戻って下って登り返して臼杵山に着く (14:20)。ここを下るとすぐに大きな岩がある。臼杵岩である。臼と杵の岩とのことである。ここから急降下。やがて樹林の道となり駐車地点に帰り着く (15:30)。

[一口感想]

アップダウンの連続、ザレ場の滑りやすい急降下、ロープで恐々降りる等、足はだるくなるは、神経は使うはで、歩くのに必死で、何とか時間は記録したが、どこでどうだったかの記憶がほとんどありません。(-_-;) (I 井)

秋晴れの下、絵本に出てきそうなトンガリ山の連続！ 頂上付近は、程よい風があり汗が引く。大岩・小岩、絶妙な組み合わせ、ザレ場等々、金勝山を思い出す！ 花はタツナミソウの様な花？ 少しも気が抜けない UP・DOWN の山登りなのに、快感を覚えるのは何故なのか。

リーダーさん・サブリーダーさん、皆様有難うございました。

(N 田)

初っ端からの急登は辛かった。

トラバース、ロープ、ザレ場、アップダウン(それもとつても急)のてんこ盛り。低山とは思えないバラエティにとんだ山行でした。毎回、楽しませてもらってます。

(H浦)

今回のコースは下見を含めて2回目ですが、気が抜けない緊張の連続の大変面白いコースでした。特に臼杵山からの下りは次から次と木にぶら下がってまるで猿のように下山しました。

(N野)

鬼が牙とはよく言ったもので、本当にここに至るまで急峻なコースで大汗をかきました。長坂の頭からの激下りもなかなか大変で、無事通過できてほっとしました。臼岩、杵岩も迫力のある奇岩で、とても面白かったです。こんなに変化に富んだコースをよく探し出して下さって、本当に有難うございます。あまり、鈴鹿の山に来たことがないので、デッカイ山城の雰囲気味わうこともできて、嬉しかったです！

(S藤)

鬼ヶ牙山頂にて



<例会山行報告>

水質検査山行・①班

日 時 2020年11月3日(祝)

参加者 CL N野、SL H部史、K林、F野、I村、O村智、H部美(記録)

行 程

7:00 和邇川河川敷集合 前日の雨もやみ、気持ちの良い快晴日。明王院前に駐禁の
囲いがあり場所探しのため20分ぐらいのロス、少し遅れて8:00に出発

9:00 牛コバ登山口から植林の急登をゆっくり上る、前日の雨にもかかわらず登山道
は意外に乾いていた。狭いトラバースを縫うように歩く。

大橋の渡渉には細い丸太橋一本恐々渡る、ヤレヤレ

11:00 スリバチの水を採水、流れが細
くなっているように思うが？

たしか2~3年前この辺りでキノ
コが？ 味噌汁一回分のキノコを
観つけにんまり。南比良峠に向かっ
て歩いていると足元の倒木に「極上
のナメコ」Oさんが観つける、もち
ろん採取！



大橋の渡渉

11:50 南比良峠 昼食タイム

12:20 ②班が到着、集合写真を撮りすぐに出発

12:50 荒川峠通過

13:20 烏谷山山頂、最高の天気でびわ湖の眺望が良い

13:55 スリバチ山山頂で、男性、女性
に分かれて集合写真、男性皆いい顔
でチーズ！

摺鉢山から分岐までのコースは落
ち葉を踏みしめ適度な下りの傾斜
今日一番の「ごほうび40分コー
ス」紅葉もきれいかった

15:20 白滝谷登山口の採水

16:30 坊村着

17:00 栗原権現登山口採水無事3ヶ所の採水が出来ました。(H部美 記)



摺鉢の水採水

《一口感想》

毎年、大橋スリバチの水コースに参加していますが、今年は前日に降った雨の影響で水かさが増して、大橋の渡渉で丸太を渡る時にスリルがありました。紅葉が始まっている南比良峠の風景や鳥谷山の赤く紅葉したロウダンツツジは最高の景色でした。

(N野)



スリバチ山での①班女性陣



スリバチ山での①班男性陣

〈例会山行報告〉

第21回比良山系飲み水水質調査・第6回放射線測定山行（2コース荒川方面）

日時 2020年11月3日(火) 晴れ

参加者 CL K近藤 SL H島 F川 S藤 S井 計5名



- 7:00 和邇川河川敷集合。コロナ対策で3台の車で出発、うち1台は中谷出合登山口配車。
- 7:20 イン谷口バス停にて、放射線測定①。
- 7:40 イン谷口到着。祝日のわりに車は少ない。採水容器を準備、東の光を背に受けながらゆっくり歩き始める。
- 8:10 大山口にて、測定②。昨日の雨でやや川の流れ勢いあり。川のせせらぎ、冷たい空気、木々の色づきがなんとも気持ちよい。
- 9:15 参道のような、とても歩きやすく手入れした道が続く中、ほお、しろもじ、カエデの葉、つややかなイワカガミ等々きれいな秋の姿を味わいながら進む。
カモンカ台到着、測定③。
- 10:10 北比良峠にて、枯れた松の横で測定④。やや風きつく、ススキが必死でふばっている。
- 10:40 八雲ヶ原にて、採水①と放射線測定⑤。湿地帯の中、危なく揺れる木橋を一人ずつ落ち着いて渡る。途中で忘年山行ルートもちらりと下見する。
- 11:30 金糞峠着、測定⑥。ずいぶん紅葉が進み、ドウダンツツジの美しいこと、きれいに敷き詰められた落ち葉の絨毯をそっと踏みながら「きてよかった。」と連発。
- 12:20 南比良峠着、測定⑦。1班と合流でき、写真を撮る。仲間と出会えたことで疲れがふっとび、元気をもらう。そよそよ秋風にさそわれて昼食、おしゃべりも弾む。
- 13:05 荒川峠に向けて出発。
- 13:20 荒川峠⑧測定。3年ほど前は〇〇〇がいっぱいあったと探し回るが、ほとんどなし。その後は、川の音を求めながら下るのみ。
- 14:30 荒川湧水道にて、採水②放射線⑨測定。
- 15:00 中谷出合に出る。疲れた足に川の勢いが元気をくれる。測定⑩。車を回収しにイン谷口へ。長老と新米が林道を歩く。S藤氏はイン谷で解散。
- 15:55 金比羅神社到着。名水までの最後の急な坂道がこたえる。水をもとめて何台かの車とすれちがう。採水の必要を感じる。
- 16:20 一台が道間違えやや遅くなったが、最後の採水③と放射線測定⑪、夕暮れ暗くなりかけた中で無事に終了。H島氏、F川氏解散。

16:45 事務所へ水を運ぶ。解散、お疲れ様。

福島原発事故により、このあたりでも微量ではあるが放射線増えてきていると聞き、30キロ離れたほどの福井原発が近くにある中、これからも大事な活動だと意識することができました。また、自然保護担当 CL は、終始先頭に立ち、道中のごみに気を配り拾っておられた点も、とても勉強になりました。(記録 S井)



<例会山行報告>

滋賀 40 山 高室山 818m

日 程：2020 年 11 月 8 日（日） 天気：くもり時々晴れ

参加者：CL H島、F野、S内、S井、H浦、W佐、S藤、K原、K保田、
N野、K林、F川 計 12 名

行 程：堅田駅 7:00＝道の駅びわ湖大橋米プラザ 7:10＝佐目駐車場 9:00～林道三つ又
10:30～高室山山頂 10:50～倉骨山 11:10～高室山山頂 11:30（お昼休憩）12:15～林道南
後谷分岐 12:35～十兵衛屋敷跡 14:10～十二相神社 14:15～駐車場 14:20＝大瀧神社 14:50
（見学）15:30（解散）

JR 堅田駅から車 3 台に分乗して出発、米プラザ、御上神社を經由して 9 時前に多賀町佐目集落の駐車場に到着。駐車場から十二相神社近くの登山口から高室山へ向かう。登山道に入ると急登の連続となる。しばらくぶりに登山をする身には少し厳しかったが、順調に高度をかせぐ。樹林帯のなか、あまり展望はきかないが高度があがるにつれて空気が冷たくなっていくのを実感できる。駐車場を出て 1 時間半ほどで林道に合流し、しばらくして高室山山頂への取り付き点に到着。再び急な登りとなる。前日までの雨で濡れた粘土の土壤に落ち葉が張り付いてよく滑り歩きにくい。何度か転びそうになるのをこらえてしばらく行くと展望のよい高室山の頂上へと出た。お昼の休憩までしばらくあるので予定どおり倉骨山まで往復する。倉骨山は高室山から東のほうへ派生した尾根の一部だが周りより少し小高くなっており小さいながらも石灰岩がごつごつとしたカルスト地形をしている。谷をはさんで向こう側には土砂の採石場も見える。ここから高室山に戻ってお昼の休憩をとる。帰路は来た時の林道分岐を過ぎてさらに北へ進み、途中で南後谷集落へむかう登山道にはいる。急坂を下りきると南後谷の集落についた。車道をしばらく歩くと佐目の集落へと戻ってきた。佐目集落は明智光秀の旧居があったとの伝承があるそうで、屋敷跡とされる場所では NHK の大河ドラマに因んだ催しの準備が進められていた。ここから神社の境内を抜けて駐車場へと戻った。帰路の途中、坂上田村麻呂にゆかりのあるという大瀧神社に車で立ち寄り境内の裏を流れる犬神川の溪谷と社殿を見学しこの場で解散となった。黄色く色づいた広葉樹や真っ赤なもみじなど楽しむことができて充実した山行となった。（W佐）

一口感想

少し曇っていましたが、時折差し込む光に照らされて、紅葉がキラキラ輝いていました。

立ち寄った大瀧神社もこんな風情のあるところがあるのかと、滋賀を再発見！！(^O^) 秋を堪能できた山行でした。

K保田

高室山山頂からの山々の紅葉は赤・黄・緑のコントラストが鮮やかに見れて、最高でした。 また足元には色鮮やかな落葉の絨毯を踏みしめて上り下りを楽しみました。 帰りに寄った大瀧神社の紅葉と溪流・奇岩は印象に残りました。

N野



《個人山行報告》黒部峡谷 下ノ廊下

日 時：2020.10.30-11.01

参加者：K嶋 CL、K井 SL、N井

行 程：10/30 各自宅 4:00～名神・北陸道立山 IC～立山駅～美女平～室堂～大観峰～黒部平～黒部湖～ロジックろよん(泊)

10/31 ロジックろよん 5:30～黒部ダム 6:00～登山口 6:40～内蔵助出合 8:00～別山谷出合 10:15～十字峡 12:30～東谷吊橋 15:00～仙人ダム 15:30～阿曾原温泉小屋(幕営)16:30

11/1 阿曾原温泉小屋 7:30～折尾の滝 9:40～大太鼓 10:50～志合谷トンネル 11:15～展望台分岐 12:30～樺平 14:00～樺平駅 15:40～立山 19:20～自宅 23:50

念願の『下ノ廊下』、やっと実現する事が出来た。何度も計画して、天候不良で諦めて…の繰り返しで 5 年は経過(笑) 2020 年の阿曾原温泉小屋の営業は自粛との事だったので、今年も歩けないんだと思っていたら、HP を見ると、なんとテン場と温泉は営業してるではないか…!それならば何とか…と計画をして、今回最高の天気の中、テント泊の荷物を担いで 30km 超の長い難路をへろへろになりながら歩き、でも素晴らしい紅葉で元気をもらい、黒部の秋をたっぷり堪能出来て感謝感謝…。ただ条件が良過ぎたこの日のテント場は 30 張のスペースに 139 パーティー221 人だったそうで、大賑わい。我々もトイレの横の狭い所と配管が下に通ってる所でテントを張り、今までのテン場の中では一番苦労したかも…。



<個人山行報告> 百名山・伊吹山

11月 3日(火) 晴

参加者 CL : K嶋 SL : S内(記録)

I井 N井 S水 I藤(友人) K藤(友人) 合計7名

いつもの同級生山行で伊吹山に出向く。前日の雨で天気を心配したが、当日は快晴！

登山口の駐車場管理人曰く・・・ジुकジुकの場所があると思うので滑らないように！

紅葉には少し早かったが、みんな元気に上ることが出来た。

午後から北の空から雲が流れてきたが、気持ちの良い山行でした。

7:45 伊吹山登山口／三ノ宮神社前より出発

8:15 樹林帯を抜けて1合目に到着、前日の雨で足元はぬかるんでいる。

9:20 3合目、小休止

10:20 5合目 小休止、やや風が強くなるが快晴登山となり気持ちが良い。

11:05 山頂に到着、風が強く寒さを感じる、昼食中も体温が下がらないよう注意する。

12:03 下山開始、下山道は登りと乾いてきたが、滑らないよう注意の上、下山。

15:07 登山口に下山。

風が強く衣服調整に苦労したが、真っ青な空の下、気持ちの良い山行でした。
皆さん、ありがとうございました。 (S内記)







<個人山行報告>

滋賀 40 山 万野 775m

日 程：2020 年 11 月 6 日（金） 天気：くもり時々晴れ

参加者：CL H島、SL F野、K原邦雄 計 3 名

行 程：堅田 7:30＝白山神社駐車場 10:15～林道終点 10:24～寺谷～大見晴 12:35（昼食）
～万野 13:35～送電線下 13:54～標高 722 14:13～採石場上 14:50～国道 306 15:45～
白山神社駐車場 16:00＝堅田（解散）

堅田 7:30 に出発する。多賀大社前から国道 306 を走り佐目トンネルを越えて大君ヶ畑集落へ。犬上川を渡って白石神社駐車場に 10:15 到着する。草地に覆われた林道終点が寺谷の取付点である。涸沢の中を登るが石灰岩の小石が多く登りづらい。谷を最奥付近まで詰めて急斜面を這い登る。尾根に出ると展望がきき、君ヶ畑の家々が見下ろせた。赤い花をつけた「マユミ」の木が美しかった。

地形と地図を確認しながら大見晴のピークを目指す。カレンフェルトが林立する大見晴で昼食をとった後万野への薄い踏み跡を進む。13:35 万野山頂に到着し、山頂写真を撮り終え三角点を探した。下山地点である標高 722 よりは向きを北に変え、土砂採石場上部に出、降下地点を探して右往左往するも崖や岩盤に阻まれて降りることができず。仕方なく登り返して採石場上部東端へ向かった。下山道が不明（消失）していたため結局採石場の中を通過させてもらい国道 306 に降り立った。（記録 H島）



正倉院展を鑑賞して

N野

今年は新型コロナウイルス感染の影響を受けて、毎年秋に奈良国立博物館で開催されて来ました正倉院展も、事前予約が必要になりました。読売新聞オンラインチケットストアでチケットを第1希望から第3希望まで申し込んで何とか一つだけ抽選に当たって鑑賞しに行くことが出来ました。

正倉院は奈良時代の741年から750年頃にかけて建立された東大寺の正倉です。北倉、中倉、南倉の3つの部屋に分かれ、宝物が納められて東大寺の厳重な管理のもと宝庫の開閉は厳しく制限され、1,300年近く宝物が守られてきました。今回は、光明皇后が献納した薬物や奈良時代の武器・武具が比較的多く出陳されているのが特徴です。この他に木画、螺鈿などの精緻な技法の桑木木画碁局や正倉院刺繍の白眉である孔雀文刺繍幡が注目されます。また、微細なタッチで散楽の様子を描いた墨絵弾弓、獅子や犀が表された平螺鈿背円鏡など見応えのある宝物が出品されていました。

今回、私が最も印象に残ったのは、象の化石の薬物である「五色龍齒」です。薬として使用されたものですが、使われた痕跡はありません。また、漢方薬としても良く使われる「大黄」の展示があり、虫に食われた分の重量も量られています。奈良時代の役人の几帳面さが窺われます。

次に印象に残ったのは、ヤコウガイを文様の形に切り取り、はめ込む螺鈿細工で飾った鏡の「平螺鈿背円鏡」です。他の鏡に比べて一回り大きくて、文様の上下が明確で獅子や犀がデザインされていて正倉院の他の鏡に無い特徴を有しています。

新型コロナウイルス感染が広まってから外に出る機会が少なくなり、京都や大阪にもあまり行かなくなりました。奈良に行くのは1年ぶりですが、正倉院展を鑑賞してから奈良公園を散策して鹿を見たり、興福寺の境内を歩いたりして久しぶりの奈良の日帰り旅行を楽しみました。

例会山行でも神社やお寺を通過することは良くありますが、それを目的に行くことはあまりありません。今回正倉院展を鑑賞して、長い日本の歴史の中で人々がどのような考え方をしていて、またどのような生活をしていたのかを改めて考える良い機会になったと思います。



滋賀県勤労者山岳連盟
比 良 雪 稜 会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方

TEL&FAX 077-594-0454

E-mail kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

HP <https://aquafoal39.sakura.ne.jp>